

Autumn Program of Noh Theater  
at MOA Museum of Art

11.30 Momijigari

MOA美術館  
秋の演能会

# 紅葉狩



能「紅葉狩」 里女 粟谷明生  
photo: Yutaka Ishida

◎料金(全席指定・入館料込):

SS席 8,000円(友の会 7,000円)/S席 7,500円(友の会 6,500円)  
A席 5,000円(友の会 3,500円)/B席 4,000円(友の会 2,500円)

◎チケット取扱い:

MOA美術館 能楽堂: tel: 0557-84-2500

e+(イープラス): <http://eplus.jp> [店頭購入]ファミリーマート  
JTB全国各支店

MOA美術館 能楽堂へ電話申込の場合は予約後、料金を郵便  
振替で下記の口座までお振込みください。入金確認後、チケッ  
トを送付致します。

口座番号: 00860-2-187378 「MOA美術館 能楽堂」

MOA美術館館内受付でも直接購入できます。

当日は、能楽ミニ講座、仕舞、狂言「墨塗」、休憩の後、能「紅葉狩」  
がございます。やむを得ず、出演者が変更する場合があります。

狂言 和泉流「墨塗」 三宅 右近

太鼓 加藤 洋輝

大鼓 原岡 一之

小鼓 曾和伊喜夫

笛 栗林 祐輔

平維茂 野口 能弘

里女/鬼女 粟谷 明生

出演 シテ方喜多流

二〇一九年十一月三十日(土)  
十三時半開演 十二時半開場  
会場: MOA美術館 能楽堂

Autumn Program of Noh Theater at MOA Museum of Art  
**11.30 Momijigari**

MOA美術館  
 秋の演能会  
**紅葉狩**

信濃国(長野県)戸隠山(とがくしやま)の鬼伝説。その鬼は女性で名前は紅葉(もみぢ)。平安時代の武士・平維茂(たいらのこれもち)に退治されたと伝えられます。

美しい紅葉に彩られたとある山中で、高貴な姿の女性が、数人の侍女を連れて紅葉狩の宴を催しています。鹿狩りの途中に通りにかかった平維茂の一行は、勧められるままに盃を重ね、眠り込んでしまいます。

維茂の夢の中に、男山八幡の末社の神が現れます。ここが戸隠山で維茂は勅命により鬼退治に来たこと、女は鬼が変化したものであることを告げ、八幡神より下された太刀を維茂に授けます。

目を覚ました維茂に、正体を現した鬼が襲いかかりますが、維茂は神剣を振るって勇敢に戦い、ついに鬼を退治してしまうのでした。

能「紅葉狩」の作者は観世信光(かんぜのぶみつ)です。「幽玄美」を追求した世阿弥(ぜあみ)とは対照的に、「風流」を取り入れた華やかでわかりやすい作品を残しました。将軍や公家の庇護を受けていた世阿弥と違い、応仁の乱に始まる乱世を生き延びた信光の時代は、幽玄よりも娯楽性が求められた為と考えられています。

「紅葉狩」はそうした信光の代表作の一つです。優雅な舞をみせる女の姿から一転して、恐ろしい鬼となって維茂を襲う劇的な展開が見どころです。演じるのは喜多流 粟谷明生(あわやあきお)です。

熱海の紅葉は、毎年11月下旬から12月上旬にかけて色づくため「日本一遅い紅葉」とも言われます。MOA美術館では、日本庭園「茶の庭」の紅葉が一斉に朱に染まるこの季節、秋の演能会「紅葉狩」をどうぞお楽しみください。



演能会鑑賞券で  
 「リニューアル3周年記念特別展 仁清 金と銀」展を  
 観覧できます。

本展では仁清が開いた御室窯の展開をたどりつつ、多岐にわたる作例の中でも特に金や銀を使用した華やかな色絵陶器を中心に展覧致します。また、茶壺などの立体に施された意匠と絵画との関連性を探り、仁清作品の意匠に類似する屏風絵などの絵画作品を展覧します。華やかな色絵陶器の魅力をこの機会に是非ご堪能ください。



国宝  
 色絵藤花文茶壺  
 野々村仁清



茶の庭の紅葉



交通

◎JR線をご利用の場合: JR熱海駅下車→バスターミナル8番乗り場よりMOA美術館行きバスをご利用ください。(所要時間7分)

◎お車でお越しの場合: 東京方面からは、西湘バイパス、又は小田原厚木道路より真鶴道路を通り、お越しください。静岡方面からは東京沼津インター、又は新東名長泉沼津インターより伊豆縦貫自動車道→熱函道路を通り、お越しください。

**MOA美術館**  
 MOA MUSEUM OF ART

〒413-8511 静岡県熱海市桃山町 26-2  
 tel: 0557-84-2511  
<http://www.moaart.or.jp>